



第61期 中間事業のご報告

2020年3月16日▶2020年9月15日



株式会社スーパーツール

証券コード:5990

株主の皆様へ

TO OUR SHAREHOLDERS



代表取締役社長

宇野 浩 久

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに2020年3月16日から2020年9月15日までの第61期中間期の事業概況についてご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業収益は大幅な減少が続き、雇用情勢や設備投資も弱含みで推移いたしました。一方で、緊急事態宣言の解除後、個人消費や生産に持ち直しの動きがみられるなど、景気は厳しい状況にあるものの、一部に改善の兆しも見られました。また、世界経済につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響によって減速傾向が続いており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止対策として濃厚接触回避などの取り組みを継続し、事業活動を行ってまいりました。金属製品事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業活動が制限されるなか、マーケティングオートメーションを活用した効率的な営業活動に取り組むとともに、顧客ニーズに合致した販売企画などに取り組んでまいりました。また、開発型企業として、全く新しいコンセプトの新製品や、既存製品から派生した製品など、あらゆる産業に対応する製品開発に注力しながら、生産効率向上を目指した適性な人員配置なども行い、収益の安定化に取り組んでまいりました。

一方、環境関連事業につきましては、依然として厳しい事業環境となっておりますが、設備投資案件の受注を軸に、事業環境の変化に対応すべく、商材の拡充にも注力し、売上確保に努めてまいりました。

以上の結果、当中間期の売上高は3,703百万円(前年同期比1,183百万円減、24.2%減)となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は160百万円(前年同期比195百万円減、54.9%減)となりました。

当中間期の業績内容を受けて、中間配当金は1株につき30円とさせていただきますました。

株主の皆様におかれましては、何卒格別のご理解をいただき、倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年11月



金属製品事業

国内販売において、作業工具の分野では、豊富なラインナップのレンチ類や配管工具類、産業機器の分野では、作業性と安全性を兼ね備えた吊クランプ類、コンパクトで機動性に優れたクレーン類など、多彩な製品群と新製品を軸に商品提案や、効果的な販売企画などを行い、売上確保に努めてまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、国内経済では、厳しい状況が続き、幅広い産業で使用される当社製品において販売が伸び悩みました。

海外市場につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業活動が制限される中、当社の主要市場である韓国において、販売子会社が現地法人の強みを活かした営業施策を展開いたしました。また、その他の地域においても安全性と日本製であることをアピールポイントとし、新たなプロモーション施策などにも取り組み、売上確保に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、販売が伸び悩みました。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,229百万円(前年同期比506百万円減、18.5%減)、セグメント利益は411百万円(前年同期比147百万円減、26.4%減)となりました。



門型クレーン・マルチクレーン

売上高



主要製品

作業工具:

レンチ、スパナ、プライヤ類・
配管工具類・プーラ類

産業機器:

治工具類・吊クランプ類・
クレーン類・マグネット類



環境関連事業

継続する厳しい事業環境に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、設備投資も弱含みで推移するなか、設置コストや運用面でメリットが多い水上設置型メガソーラーなどの大口の設備投資案件やセカンダリー案件の受注獲得に注力してまいりました。また、太陽光関連部材のラインナップ拡充など、建設から販売まで幅広く展開し、売上確保に努め、より筋肉質な事業体制を構築すべく、取り組んでまいりました。また、売電部門では、大阪府南河内郡河南町及び柏原市に設置しています3カ所の発電所が順調に稼働しており、収益の安定化に寄与しています。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,473百万円(前年同期比676百万円減、31.5%減)、セグメント利益は72百万円(前年同期比164百万円減、69.4%減)となりました。



水上太陽光発電

売上高



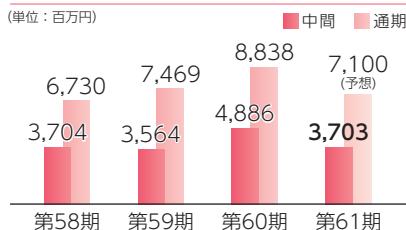
主要事業

太陽電池モジュール及び関連機器の販売
電気工事業、管工事業
太陽光発電システムの設計・施工、売電事業など

業績ハイライト

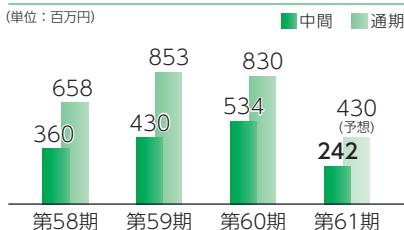
売上高

(単位: 百万円)



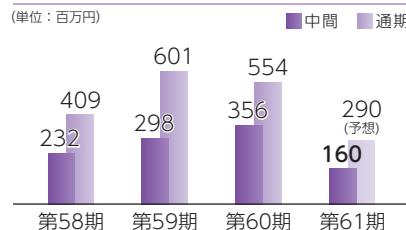
経常利益

(単位: 百万円)



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

(単位: 百万円)



中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期末 2020年9月15日現在	前期末 2020年3月15日現在
資産の部		
POINT 01 流動資産	6,991	6,451
POINT 02 固定資産	6,254	5,815
有形固定資産	5,804	5,470
無形固定資産	41	12
投資その他の資産	408	332
資産合計	13,245	12,266

POINT 01 流動資産 539百万円増加

前渡金の増加951百万円、現金及び預金の増加140百万円、商品及び製品の減少484百万円等により、539百万円増加しました。

POINT 02 固定資産 439百万円増加

土地の増加411百万円等により、439百万円増加しました。

POINT 03 負債合計 854百万円増加

短期借入金の増加650百万円、前受金の減少61百万円、長期借入金の増加299百万円等により、854百万円増加しました。

(単位：百万円)

科目	当中間期末 2020年9月15日現在	前期末 2020年3月15日現在
負債の部		
流動負債	2,312	1,756
固定負債	1,806	1,507
負債合計	4,118	3,263
純資産の部		
株主資本	6,680	6,642
資本金	1,902	1,902
資本剰余金	837	839
利益剰余金	4,054	3,985
自己株式	△114	△84
その他の包括利益累計額	2,447	2,359
その他有価証券評価差額金	139	74
繰延ヘッジ損益	△8	△30
土地再評価差額金	2,317	2,317
為替換算調整勘定	△1	△1
純資産合計	9,127	9,002
負債純資産合計	13,245	12,266

	第60期(中間)	第60期(期末)	第61期(中間)
自己資本比率	71.2%	73.4%	68.9%
1株当たり中間(当期)純利益	174円39銭	270円72銭	78円80銭

配当金推移

1株当たり配当金推移(円)

	第57期	第58期	第59期	第60期	第61期
年間	90	90	100	90	60(予想)
中間	45	45	45	45	30
期末	45	45	55	45	30(予想)

※当社は、2018年9月16日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。第57期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり配当金」を算定しております。また、第59期の期末配当について、1株当たり10円の記念配当を実施いたしました。これにより、第59期の期末配当金は55円(普通配当45円、記念配当10円)となっております。



中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	2020年3月16日から 2020年9月15日まで	2019年3月16日から 2019年9月15日まで
POINT 04 売上高	3,703	4,886
売上原価	2,757	3,588
売上総利益	945	1,297
販売費及び一般管理費	668	703
営業利益	276	594
営業外収益	13	6
POINT 05 営業外費用	47	66
経常利益	242	534
特別利益	—	0
特別損失	1	0
税金等調整前中間純利益	241	534
法人税、住民税及び事業税	99	195
法人税等調整額	△19	△ 17
法人税等合計	80	178
中間純利益	160	356
親会社株主に帰属する中間純利益	160	356

POINT 04 売上高

前中間期に比べ1,183百万円減少しました。セグメント別では金属製品事業は506百万円減少、環境関連事業では676百万円減少しました。

POINT 05 経常利益

効率的な事業活動に取り組み、利益確保に努めましたが、売上高の減少により経常利益は292百万円減少しました。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	2020年3月16日から 2020年9月15日まで	2019年3月16日から 2019年9月15日まで
POINT 06 営業活動による キャッシュ・フロー	△217	△ 53
POINT 07 投資活動による キャッシュ・フロー	△458	△ 24
POINT 08 財務活動による キャッシュ・フロー	816	△ 454
現金及び現金同等物に 係る換算差額	0	△ 2
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	140	△ 535
現金及び現金同等物の 期首残高	1,478	2,454
現金及び現金同等物の 中間期末残高	1,618	1,919

POINT 06 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前中間純利益241百万円、たな卸資産の減少497百万円等により資金の増加がありましたが、前渡金の増加951百万円等により、217百万円資金が減少しました。

POINT 07 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出428百万円等により、458百万円資金が減少しました。

POINT 08 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の純増加額650百万円、長期借入れによる収入400百万円、配当金の支払額92百万円、長期借入金の返済による支出90百万円、自己株式の取得による支出50百万円により、816百万円資金が増加しました。

TOPICS 01

モンキレンチの進化系 「クイックワイドモンキレンチ」

モンキレンチはウォームを回して口開きをボルト・ナットのサイズに調整することで使用することができる汎用性の高い工具ですが、サイズ調整に時間が掛かってしまうことが難点です。それを改善するため、ウォームを下に引くことで素早くサイズ調整ができるクイックリリース機能付きのモンキレンチを新発売しました。本体は、薄型・軽量設計でグリップ部分は握りやすく作業性の良い幅広形状となっています。また、容易にサイズ調整ができる目盛り付き。調整範囲に応じて3サイズを用意し、さまざまなサイズのボルト・ナットを使用する作業に使用できます。



TOPICS 02

用途に合わせて選ぶ、 3タイプの「両開き工具セット」

機械・自動車・農機の整備など、用途に合わせた3タイプの両開き工具セットを新発売。3タイプそれぞれにプロが満足する、使う人の立場に立った最適なツールを揃えています。工具箱は、ワイドに開く両開き構造により、工具の出し入れがしやすく、各段には、工具をスマートに整理整頓できるスポンジトレイが付属されています。また、箱の表面には、ダイヤエンボス加工を施しており、スタイリッシュな工具箱となっています。





会社の概況

設立	1960年12月10日
資本金	1,902百万円
本社・工場	大阪府堺市中区見野山158番地
支店	大阪支店(大阪府堺市) 東京支店(東京都品川区) 名古屋支店(名古屋市中区)
営業所	札幌営業所(札幌市白石区) 仙台営業所(仙台市若林区) 新潟営業所(新潟市東区) 北関東営業所(さいたま市見沼区) 広島営業所(広島市西区) 福岡営業所(福岡市博多区)
物流センター	東部物流センター(さいたま市見沼区)
子会社	株式会社スーパーツールECO(本社:大阪府堺市) SUPER TOOL KOREA CO., LTD.(韓国ソウル市)

役員

代表取締役社長	平野 量夫
取締役	田中 穰
取締役	熊谷 宏
社外取締役	赫 高規
取締役等委員	河村 信広
社外取締役等委員	田中 豪
社外取締役等委員	深堀 知子



株式の状況

(2020年9月15日現在)

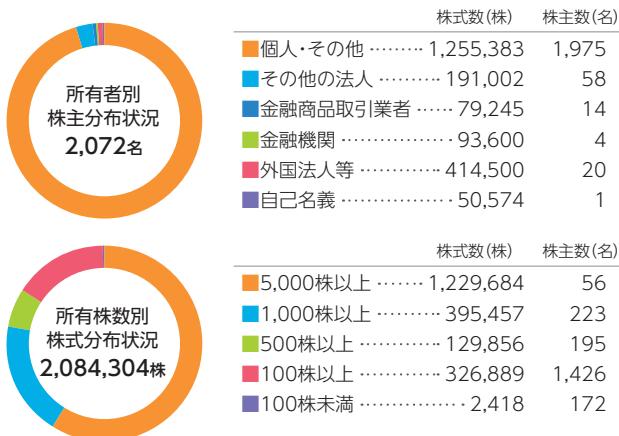
発行可能株式総数	6,000,000株
発行済株式総数	2,084,304株 (自己株式数50,574株を含む)
1単元の株式の数	100株
株主数	2,072名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD-SINGAPORE BRANCH PRIVATE BANKING DIVISION CLIENT A/C 8221-563114	119	5.89
NIHON GLOBAL GROWTH PARTNERS LLC	100	4.92
BANK JULIUS BAER SINGAPORE INDIVIDUAL PORTFOLIO NO. SG06922000-02	88	4.32
濱中ナット株式会社	65	3.22
SMBC日興証券株式会社	51	2.53
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	45	2.23
竈 利英	45	2.23
BNYM AS AGT/CLTS NON TREATY JASDEC	44	2.18
吉川 明	35	1.75
株式会社池田泉州銀行	34	1.67

※ 持株比率は自己株式(50,574株)を控除して算出しております。

株主・株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年3月16日から翌年3月15日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月15日
中間配当金 受領株主確定日	9月15日
定時株主総会	毎年6月（事業年度末日の翌日から3ヵ月以内）
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.supertool.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
単元株式数	100株

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。



株式会社スーパーツール

〒599-8243 大阪府堺市中区見野山158番地
TEL (072) 236-5521(代表)

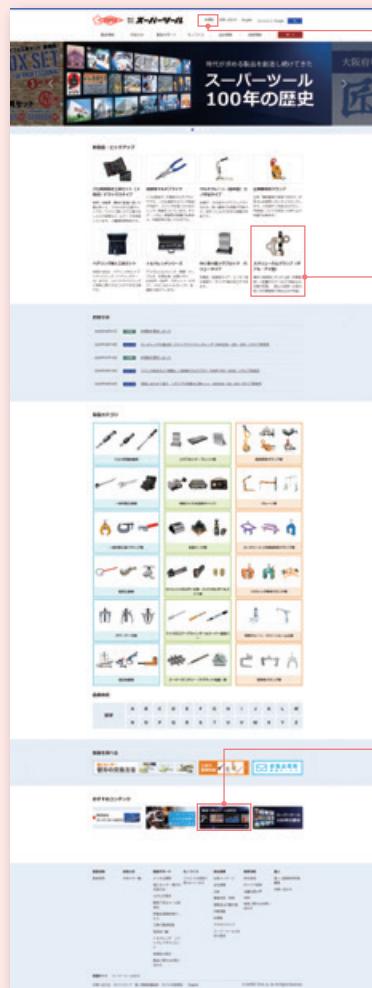
ホームページ
のご案内

<https://www.supertool.co.jp>

当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報、製品情報などさまざまな情報をご提供しています。

スーパーツール

検索



IR情報



製品情報



カテゴリや目的別に詳しい製品情報を見ることができます。またピックアップ製品としてスーパーツールがおすすめする新製品等をご紹介します。

動画で見るツール使用法



チラシ等のPDFや使用例の動画をご用意しております。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。